

社協だより

塩見小学校6年生「地域のために」活動中!! ～地域を基盤とした福祉教育プログラム実践2024～

令和6年度も塩見小学校6年生21名が地域の中で福祉について学ぶ活動に取り組んでいます。この活動は、福祉の探求活動から地域への貢献活動への連続的な学びの展開を柱に、児童が学びながら地域に貢献し、暮らしている地域をよりよく変化させる活動です。

活動を通して、様々な人と関わることや新たなことへチャレンジする経験が児童の成長に大きく結びついています。

第5回目の活動では、実際に地域に出て調査を行いました。地域の方々に自分たちの暮らす地域の良いところや困りごとについてインタビューし、その結果をまとめました。

今後は、「自分たちにできること」について考え、「地域のために」行動する活動に取り組んでいきます。

これからの塩見小学校6年生の活躍にご期待ください!

社 協 会 員 制 度 ご協力のお願い

日向市社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域住民及び福祉組織・関係者の協働により地域生活課題の解決に取り組み、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進することを使命としています。

また、この使命を達成するために、以下の理念に基づき地域福祉事業等を展開しています。

- (1) 地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現
- (2) 誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現
- (3) 地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築
- (4) 地域生活課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動の創出
- (5) 持続可能で責任ある自律した組織経営

本会は、地域の方々が住み慣れたまちで安心して生活することができる福祉のまちづくりの実現を目指し、地域の皆さまとともに地域福祉の向上に取り組む非営利で、公共性の高い民間団体です。

本会が地域福祉事業を推進するために必要とする財源につきましては、『社協会員制度』における会員からの会費が大きな柱の一つとなっています。会員となる対象者や会費の金額ごとに、以下の3つの『社協会員制度』があります。

《社協会員制度》

種 別	対 象	会 費 額	募 集 活 動
一般会員	地域住民 (世帯)	年間500円 (1世帯あたり)	各区公民館を通じて戸別徴収または区会計予算化により会費をご負担いただいています。
特別賛助会員	個人、法人、 企業など	1□1,000円	社協活動に賛同いただける個人や団体に対し、民生委員児童委員や社協職員が声かけして、会員を募集しています。
福祉賛助会員	法人、企業、 団体など	1□10,000円	市内の企業等の皆様にご協力いただき会費をご負担いただいています。

『社協会員制度』は、主に ① 福祉事業を行うための活動費を確保する ② 一人ひとりが地域福祉活動に参加・参画する という2つの意味を持っています。

また社協会員制度は、市民の皆さまからの善意による、いわば『助け合いの精神』に基づいて行われています。そのため、会員になっていただいたからといって特別な特典があるわけではございません。また、何かをしなければいけないということもありません。当然のことながら会員にならなかったからといって、万が一に本会の福祉サービスを受けるような場合に、不利益が生じたりすることはありません。

しかしながら、本会が地域福祉活動を推進するためには、皆さまから協力いただく会員会費が必要不可欠です。市民及び法人・団体等の皆さまに、本会の推進する地域福祉活動へご賛同をいただき、住民同士の支え合い活動の活性化にご協力いただきますようお願いいたします。



令和5年度 社協会員制度の実績報告

令和5年度は、90の自治会と668の個人や企業・団体にご協力いただき、

7,072,457円

の会費をいただきました。

いただいた会費は以下のとおり地域福祉の推進に活用させていただきました。ご協力いただいた皆さま誠にありがとうございました。

【会費の主な使い道】

- ① 福祉人材の育成・サポート
民生委員児童委員や福祉推進員、各区福祉部、ボランティアなどの活動をサポート
- ② 福祉活動の拠点づくり
日向市総合福祉センター及び東郷地区総合福祉センターの維持・管理
- ③ 福祉の情報発信
広報誌やホームページを活用して市民へ地域福祉情報を発信
- ④ マイクロバスの運行
ふれあいいきいきサロンやボランティア、民生委員児童委員協議会の視察研修などに運行

※今回の社協だより(2024年7月号)の世帯配布に合わせて、『社協会員制度』のチラシを班回覧しています。

チラシもご覧いただき『社協会員制度』へのご理解を深めていただきますようお願いいたします。

令和6年度 介護の担い手体験事業

元気なシニア向け！介護の職場を体験してみませんか？あなたの元気を必要としています。超高齢化社会を迎えている中で、元気なシニアが「介護助手※」として働きながら、社会参加し、活躍できる場を作ることを目的としています。まずは、介護の職場を体験してみませんか？

※介護助手とは…介護施設等で身体介護を行わない周辺業務に従事する職員。

【参加対象者】 概ね60歳以上の方(55歳から申込可能)、資格・経験…不要

- 【体験施設】
- ① 特別養護老人ホーム永寿園・永寿園ユニット館(富高)
 - ② 特別養護老人ホーム立縫の里(美々津)
 - ③ 介護老人保健施設メディケア盛年館(大王谷)

【体験費用】 無 料※但し、交通費、昼食代、健康診断(必要な場合)は自己負担となります。

【申込期間】 令和6年6月1日(土)～令和7年1月15日(水)※希望日の2週間前までに申し込み

【実施期間】 令和6年6月1日(土)～令和7年1月31日(金)

【体験期間】 最大3日間(1日あたり3～5時間程度)

【問合せ先】 社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 長寿社会推進センター

〒880-8515 宮崎市原町2番22号

宮崎県福祉総合センター人材研修館1階

TEL 0985-31-9630

FAX 0985-31-9665



宮崎県社協

検索





ご存じですか？

あなたの地域の身近な相談相手 民生委員児童委員



民生委員児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された「地域福祉を担うボランティア」です。

日向市には8地区に137名の民生委員児童委員がおり、日々、地域の方の相談・支援にあたっています。

地域の課題が複雑・多様化しているなか、同じ地域で生活する住民の一員として、住民からのさまざまな生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じています。

また、相談に応じるだけでなく、必要な支援を受けられるよう、地域の関係機関への「つなぎ役」としての役割を担っています。

民生委員児童委員の中には、「主任児童委員」として、子どもや子育てに関する支援活動を行う委員もいます。



5月12日は「民生委員・児童委員の日」。民生委員児童委員の活動を知っていただくため、戸別の訪問活動や、街頭でのPR活動を行いました。

令和6年度 日向市民生委員児童委員協議会 総会を開催しました



令和6年5月15日 日向市民生委員児童委員協議会総会が行われました。昨年度は、地域での見守り活動や研修会等が以前のように活発に行われ、「顔の見える関係性」を実感したこと等が報告され、今年度も積極的に活動を進めていくことを確認しあいました。総会後には各専門部会や担当地区ごとの定例会を行い、委員相互の情報共有を図りました。一斉改選より就任された委員も1年半が経過し、活動への拡がりが見られてきており、見守り活動やサロン等の地域活動に積極的に取り組まれています。今後も、民生委員児童委員は「支え合う 住みよい社会 地域から」をスローガンに、地域住民の一番身近な相談役として日々活動に取り組んでいきます。



民生委員児童委員には法に基づく守秘義務があり、相談者の個人情報やプライバシーに配慮した支援活動を行います。安心してご相談ください。

日向市民生委員児童委員協議会事務局
☎52-2572 (担当：米良)

令和6年度日向市社会福祉施設等連絡会 総会報告



総会終了後は、加盟施設・事業所職員等59名が集い、情報交換会をおこない親睦を深めました。

令和6年6月7日、日向市社会福祉施設等連絡会総会が開催されました。令和5年度の活動報告および決算報告が行われ、満場一致で承認されました。また、役員については任期が2年となっており、引き続き下記の方々に担っていただきます。

【会長】黒木 邦人氏 障害者支援施設しおみの里

【副会長】日高真由美氏 ひよこ保育園

【監事】谷口 衛氏 中心の里作業所

池田隆太郎氏 特別養護老人ホーム永寿園

※会長は障がい児者施設部会部会長、副会長は児童施設部会部会長を兼ねています。

【高齢者施設部会部会長】

黒木 教裕氏 特別養護老人ホーム立縫の里

残り1年間、よろしくお願いいたします。

○これからの日向市社会福祉施設等連絡会(以下 施設連)の在り方について

国は新しい社会福祉の方向性として、子ども、高齢者、障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現を目指し、住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる地域づくりへの支援とともに、複合化・複雑化した課題を受け止める総合的な相談支援体制づくりを進めています。社会福祉施設等においては、これまで培ってきた福祉サービスに関する専門性やノウハウ、地域の関係者とのネットワーク等を活かしながら「地域における取組み」の実践を通じて、地域づくりと連携し、積極的に展開していくことが期待されています。社会福祉施設等も地域共生社会をつくる一員として期待されていることから、分野を横断的且つ包括的にまとめ、地域と施設をつなげてまいります。

ボランティア・市民活動センター

(担当:藤田)

梅雨に入り、台風や大雨災害が心配な時期となりました。台風や大雨への備えはできていますでしょうか？日向市でも令和4年9月に発生した台風14号の影響で東郷圏域・南部圏域を中心に被害を受けました。床上・床下浸水の被害が確認され、災害ボランティアセンターを設置し、5日間で延べ10団体137名（個人ボランティア含む）の災害ボランティアにご協力いただきました。



災害ボランティアの役割とは？

家財道具の運び出し・移動・整理、仕分け作業、家屋内清掃、災害ゴミの集積所までの運搬
たたみ上げ・運び出し、がれき撤去、泥出し 等

家財の運び出し



たたみ上げ・家内清掃



家財の整理・分別



集積所への運搬



災害ボランティアの募集方法

- 本会与普段から関わりのある団体に依頼
(区長、民生委員、地域の団体、ボランティア団体等)
- 公共物を活用しての募集
(防災行政無線、ケーブルテレビ、マスコミ関係等)
- 本会のホームページやFacebookで情報発信 など

発災後、随時情報発信する予定ですので、ご確認ください。
災害時は皆さんの力が必要です。
ご協力よろしくお願いいたします！

あなたのもったいないを
誰かのありがとうへ



食糧支援事業

募集中!

フードバンクの物品が不足しています

生活相談・支援センター心からでは、地域住民や企業に食糧支援を募り、生活が困窮している世帯に無償で提供しています。いただいた物資は、学習支援の子ども達や市内の児童養護施設、子ども食堂の取組みをされている団体にも提供させていただいています。新聞やテレビで目にする生活困窮世帯の現状は、私たちの身近なところでも実際に起こっています。このような境遇の方々の自立に向けた「命を守る食の支援」であるフードバンクは、誰にでもできる身近な支援活動の一つです。

共感いただける皆様からの、あたたかいご支援をお待ちしております。

【寄贈いただきたい物品例】

家庭内の保存食

- 乾麺類 ○乾物 ○缶詰・瓶詰食品
- レトルト食品 ○インスタント食品など



調味料

- 醤油 ○味噌 ○食用油など

お米 お菓子 飲料水

日用品

- 石鹸 ○洗剤 ○ティッシュ
- ギフトパック(贈答品の余剰等)など



【注意事項】

- ・賞味期限がきちんと明記されているもの
 - ・賞味期限が1か月以上あるもの
 - ・常温保存が可能なもの
 - ・未開封であるもの
- ※食品の状態によってはお断りする場合があります。

寄贈方法は、本会の窓口へ直接お持ちいただくか、本会への来所が難しい場合、取りに伺います。ご不明な点は、担当までお問合わせください。

子どもの学習・生活支援事業 令和6年度も始まりました

子ども達の学びと未来を応援する活動

生活相談・支援センター心からでは、生活の支援が必要なご家庭や、ひとり親のご家庭に暮らす小学生から中学生の子どもたち、また前年度までに本事業を利用した高校生を対象に「子どもの学習・生活支援事業」を実施しています。毎週土・日曜日に、日向市総合福祉センターで、学習サポートを行っています。

本事業は、学力アップや高校合格を目的とした事業ではなく、学習を通して、子どもたちが家族以外の大人との関わりやコミュニケーションの経験の場など、子どもたちの“居場所”となること、そして学習習慣を定着させることを目指しています。

“学習支援員”を募集しています

生活相談・支援センター心からでは、子どもたちの成長を見守ってくださる、学習支援員を募集しています。特別な資格等は必要ありません。本事業に賛同・協力していただける方ならどなたでも大歓迎です。ぜひご連絡をお待ちしております。

■週1回2時間程度、事業を利用している子どもたちとコミュニケーションを取りながら宿題や苦手教科の学習の見守りを行う。

■活動に関しては活動費が支給されます。(1回の支援につき1000円支給)

【学習支援コーディネーターより】

随時募集中です。協力していただける時に活動してもらうだけで十分です。活動の見学も行っていますので、いつでもお問合わせください。

連絡先52-1010 生活相談・支援センター心から (担当：水筑)



教えるのではなく、一緒に考える



もちろん遊びも一生懸命に!



学習支援員連絡会の様子
子どもたちに何か必要か協議

じどうかん・センターだより

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

ひちやじどうせんたー

日知屋児童センター ☎：52-8443

7月3日(水)

『七夕飾りをつくろう!』(幼)

☆みんなで素敵な七夕飾りを作りましょう♪

☎時 間：10:30~11:30

☎定 員：15名



7月24日(水)

『世代間交流(未就学児)』(全)

☆小学生のお兄さん・お姉さんと一緒に遊びましょう。

☎時 間：10:00~11:30

☎定 員：なし(日知屋保育園の園児参加)

8月2日(金)・3日(土)

『もくもくオモチャ広場』(幼・小)

☆手作りの木のおもちゃで遊びましょう!

☎時 間：10:00~12:00

13:00~16:00

☎定 員：なし



8月9日(金) (予定)

『高校生とつながろう! (仮)』(小・中・高)

☆高校生のお兄さん・お姉さんと一緒に楽しい思い出を作ろう!

☎時 間：14:00~16:30

☎定 員：なし

だいおうだにじどうかん

大王谷児童館 ☎：66-1177

7月20日(土)

『人形劇』(全)

☆「のべおか風と土の学校」の皆さんによる人形劇の公演です。おたのしみに~♪♪♪

☎時 間：14:00~15:30

☎定 員：40名



7月27日(土)

『たのしいおはなし会』(幼・小)

☆福井幸子さんと高校生による読み聞かせです。

絵本や紙芝居の世界を楽しみましょう♪

☎時 間：10:30~11:30

☎定 員：30名



8月8日(木) (予定)

『高校生とつながろう! (仮)』(小・中・高)

☆高校生が普段学んでいることを披露してもらいながら、楽しく交流しましょう♪

☎時 間：14:00~16:30

☎定 員：なし



8月22日(木)

『チャレンジ・ザ・ゲーム』(小・中・高)

☆いろいろなゲームがあるよ! スタンプラリーでゲームを楽しもう♪

☎時 間：14:00~15:30

☎定 員：30名



Instagramで
情報発信
しています♪



行事はいつでも無料で参加できますが、必ず事前にお問合せください。

定員になり次第締め切りとさせていただきます。

※対象者の表記について

- ・幼・・・幼児親子
- ・小・・・小学生
- ・中・・・中学生
- ・高・・・高校生
- ・全・・・幼児親子、小学生、中学生、高校生

正職員採用試験のお知らせ

日向市社会福祉協議会では、正職員（総合職）を以下のとおり募集します。

採用試験の詳細については、日向市総合福祉センターもしくは日向市東郷地区総合福祉センターで配布する採用試験要領（本会ホームページからもダウンロードできます）をよく読んで、手続きをしてください。

- 【採用区分】 正職員 総合職
- 【採用予定人員】 若干名
- 【業務内容】 日向市社会福祉協議会の業務全般
- 【受験資格】
 - 《年齢》昭和40年4月2日以降に生まれた方（年齢59歳まで）
 - 《学歴》大学、短期大学または専門学校等卒業以上又は令和7年3月までに卒業見込みの者。
 - 《資格》①普通自動車運転免許取得又は令和7年3月までに同資格を取得見込みの者。
 - ②採用後、社会福祉士等の資格取得に向けて意欲のある者。
 - ③社会福祉士等の有資格者は採用優遇。

- 【試験日】
 - ◇1次試験 令和6年9月1日（日）
 - ◇2次試験 令和6年9月22日（日）

【試験会場】 日向市総合福祉センター

【応募期間】 令和6年7月1日（月）～8月14日（水）
郵送の場合、8月14日（水）の当日消印まで有効

【お問い合わせ】 総務課総務係 職員採用試験担当（松永）

【その他】 日向市社協では、放課後児童支援員（臨時職員）や訪問介護ヘルパー（非常勤）も募集しています。採用情報をホームページにアップしています。興味・関心のある方はホームページをご確認ください。



一緒に働く仲間を待ってます！

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略 令和6年4月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
岩切和弘	岩切秋子	松原
是澤恵美子	是澤兼雄	堀一方
田辺好文	田辺八千代	鶴野内
森光子	森合子	山下
北住明子	白石峰三	中原
佐藤チエ子	佐藤盛男	永田
長野眞智子	長野哲	別府
笹岡都喜子	笹岡覚盛	清正
三輪寿	三輪フミ子	永江
三樹治徳	三樹ヤエ子	曾根
黒木正人	黒木正子	寺迫
仲公子	仲禮幸	高砂
黒木二夫	黒木祐治	堀一方
橋口岩男	橋口博文	宮の下
黒木タマヨ	黒木末弘	飯谷

〈物品寄贈寄付者〉敬称略 令和6年4月分

氏名	地区	物品
長野眞智子	別府	紙おむつ
三輪寿	永江	紙おむつ、尿取りパッド

〈香典返し〉敬称略 令和6年5月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
石川知典	石川紀元	鶴町
石川知典	石川泰代	鶴町
島田洋一	島田ヨシエ	吉野川
安松ひとみ	児玉スナ子	金ヶ浜
黒木君子	黒木務	高松
後藤はるよ	後藤隆徳	亀崎東
黒木泰彦	黒木厚子	幸脇
岡田文	岡田紀子	福瀬
黒田久雄	黒田美恵子	永江
木下タマ子	木下唯雄	幡浦
菊池進一	菊池哲夫	越表
金丸順子	樋吉三郎	曾根
荒竹貞吉	荒竹節子	堀一方
松木延夫	松木優子	中村
水野順一	水野シマコ	仲深

〈物品寄贈寄付者〉敬称略 令和6年5月分

氏名	地区	物品
荒竹貞吉	堀一方	紙おむつ

【発行者】



社会福祉法人
日向市社会福祉協議会

【日向市生活相談・支援センター心から】
【日向市ボランティア・市民活動センター】

〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3
日向市総合福祉センター
TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562
ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2
日向市東郷地区総合福祉センター
TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274
Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。奇数月に発行。

この情報紙は再生紙を利用しています。
印刷所 有限会社 第一印刷